

第11回 化学物質の内分泌かく乱作用に関する日英共同研究ワークショップ
2009年 大阪

The 11th UK-Japan Annual Scientific Workshop on Research into Environmental Endocrine
Disrupting Chemicals, Osaka, Japan 2009

開催プログラム (案)

2009年11月13日(金)

9:00 - 9:30 **開会挨拶**
 マイク ロバーツ (英国 環境・食料・農村地域省 (DEFRA))

開催内容及び2004年から2009年の日英共同研究の概要
 井口 泰泉 (自然科学研究機構)

セッション

コアプロジェクト 1
座長：ディビット シーハン (英国 環境・食料・農村地域省 (DEFRA))
 鑑迫 典久 (国立環境研究所)

9:30 - 10:10 **排水由来エストロゲン作用の削減効果および生物学的意義の評価に関する研究**
 モニカ・ユルゲンス (英国 生態・水文学センター (CEH))
 田中 宏明 (京都大学)
 南山 瑞彦 (土木研究所)

コアプロジェクト 2
座長：ディビット シーハン (英国 環境・食料・農村地域省 (DEFRA))
 鑑迫 典久 (国立環境研究所)

10:10 - 11:00 **イトヨを使った化学物質及びその他汚染物質の内分泌かく乱作用評価手法に関する研究**
 長江 真樹 (長崎大学)
 イオアナ カチアダキ (英国 漁業水産養殖学センター (CEFAS))
 ティム ビーン (英国 漁業水産養殖学センター (CEFAS))

11:00 - 11:20 休憩

コアプロジェクト 3

座長：クリスティーナ ライ（英国 Enviresearch社）
太田 康彦（鳥取大学）

11:20 - 12:00 魚類における精巢卵誘起及び雌性化メカニズムについて
アンケ ランゲ（英国 エクセター大学）
宮川 信一（自然科学研究機構）

12:00 - 13:30 昼食／ポスターセッション

コアプロジェクト 4

座長：クリスティーナ ライ（英国 Enviresearch社）
太田 康彦（鳥取大学）

13:30 - 14:10 両生類生態影響評価手法に関する研究
高瀬 稔（広島大学）

総合討論

座長：チャールズ タイラー（英国 エクセター大学）
井口 泰泉（自然科学研究機構）

14:10 - 14:40 コアプロジェクト1～4 について

日英共同研究の今後の展望について（2010年～2015年）

14:40 - 15:00 今後の日英共同研究における計画
チャールズ タイラー（英国 エクセター大学）

15:00 - 15:20 休憩

15:20 - 18:20 討論（ワークショップ参加者のみによるクローズドセッション）
座長：チャールズ タイラー（英国 エクセター大学）
井口 泰泉（自然科学研究機構）

2009年11月14日(土)

特別講演

座長：チャールズ タイラー（英国 エクセター大学）
井口 泰泉（自然科学研究機構）

- 8:40 - 9:10 **講演 1**
 トーマス ハッチンソン（英国 漁業水産養殖学センター（CEFAS））
- 9:10 - 9:40 **講演 2**
 マイク ロバーツ（英国 環境・食料・農村地域省（DEFRA））
- 9:40 - 10:10 **講演 3**
 早水 輝好（環境省環境保健部環境安全課長）

ワークショップ総括及び次期日英共同研究の新たな枠組みの構築に向けて

座長：チャールズ タイラー（英国 エクセター大学）
井口 泰泉（自然科学研究機構）

- 10:10 - 10:40 **新たな枠組みにおける2010年の活動方針について（前日の討論を踏まえた報告）**
- 10:40 - 11:00 **討論**
- 11:00 - 11:30 **休憩**
- 11:30 - 11:50 **総括**
 チャールズ タイラー（英国 エクセター大学）
 井口 泰泉（自然科学研究機構）
- 11:50 - 12:00 **閉会挨拶**
 イアン ダルトン（英国 環境・食料・農村地域省（DEFRA））
 早水 輝好（環境省）
- 12:00 - 12:15 **休憩**

日英共同研究継続に関する調印式

12:15 - 12:30 日本側：早水 輝好（環境省）
 英国側：イアン ダルトン（英国 環境・食料・農村地域省（DEFRA））